



関沢小だより



校長 藤谷 健二

【 自分の可能性を信じ、未来に挑戦する児童の育成 】

1月26日に関沢小学校学校研究発表会を実施しました。令和2年度から3年間、富士見市教育委員会の委嘱を受け「自分の可能性を信じ、未来に挑戦する児童の育成～児童一人ひとりの自己肯定感を高める学びのデザイン」をテーマに研究を進め、その集大成として6年生と3年生の2つのクラスが授業を公開して他校の先生方に参観いただき研究協議を行いました。

6年生は、体育の跳び箱の授業でどの子もはつらつと生き生きと運動していました。そして端末に自分たちの跳んでいる姿を映してフォームの確認をしてより精度を上げるよう繰り返し練習していました。そして、良いところや見てほしいところをお互いに見合う姿が見られました。どの子も笑顔で何度も技にチャレンジする様子が見られ、体育館の冷たい空気の中でもクラス全体がやる気に満ちた雰囲気にもまれていました。



3年生の道徳の授業では、「たまちゃん大好き」の教材にどの子もしっかりと自分の考えをまとめたり発表したりしていました。

多くの先生方が参観している中でも、臆することなくいつもの授業と同じようにいろいろな友達と意見交流をしていました。「相手を理解する心」が主題で、自分とは違うものの見方や感じ方に触れ、相手の思いや気持ちに寄り添う大切さを学ぶことができていました。

全体会の中で、埼玉大学の教授から「自己肯定感と子供の成長・発達」という演題で講義をしていただきました。学童期は自己理解が浅いので家族や友達との関係が行動源となり影響を受けやすいという指摘や自尊感情が高いと精神的健康度が高いという話がありました。また、私たちがこれまで研究で取り入れてきた「自律性」「関係性」「有能性」の3つの基本的な心理的欲求の満足が満たされていると自己肯定感や自尊感情が高まっていくという話もあり、3つをバランスよく育むことの大切さを改めてご示唆いただきました。そして、自尊感情を支援するという事は、自分の良さをしっかりと育む基礎を作ることであるので、どのクラスでも友達や先生との良好な関係性をしっかりと維持し、自分らしさを発揮できる教育環境を整えていただきたいとありました。

今回の研究で得られた成果と課題を整理し、これからも一人ひとりの自己肯定感を高める学びを取り入れ、自分の可能性を信じ、未来に挑戦する児童の育成に努めてまいります。

2月の行事予定

今月の生活のめあて

元気な体を作ろう

1	水	お話集会 西中学区青少年健全育成会議	16	木	クラブ活動・3年生クラブ見学予備日
2	木	委員会活動	17	金	
3	金	☆6年生社会科見学	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	特別日課5時間
6	月	特別日課5時間	21	火	授業参観・懇談会（5年・6年・さくら） ふれあいデー
7	火	西中学校体験入学・入学説明会（6年）			
8	水	読書・読み聞かせタイム 学年教材費集金日	22	水	
9	木	クラブ活動・3年生クラブ見学	23	木	天皇誕生日
10	金	☆普通日課4時間 13時下校	24	金	授業参観・懇談会（3年・4年）
11	土	建国記念の日	25	土	
12	日		26	日	
13	月	特別日課5時間	27	月	特別日課5時間
14	火		28	火	授業参観・懇談会（1年・2年）
15	水	おわかれ なかよしタイム	※給食費の集金はありません。		

☆3日（金）は社会科見学のため、6年生が登校班で登校しません。

☆10日（金）は職員が富士見市教育研究会研究発表会に参加するため児童は13時下校となります。

学校評価へのご協力ありがとうございました

たくさんの貴重なご意見をいただきました。今年度はコロナの収束を見据えて、感染防止策をとりながらどのように学習・学校行事等を進めていくかという課題を持ち、教育活動を進めてまいりました。まだまだコロナ前のように行えないものもありましたが、コロナ禍で中止、縮小していた多くの行事が実施できたことへの安堵や喜びのご意見を多くいただきました。

いただいた多くのご意見を職員で共有し、生かしながら、引き続き学校教育活動の充実に努めてまいります。少しでも早く通常の学校生活が取り戻せることを願いながら、子供達のためにその時にできる一番良い形を模索していきます。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

小中一貫 あいさつ運動

西中学校の生徒会と代表委員によるあいさつ運動を行いました。中学生の皆さんも立派な態度でしっかりとあいさつをしてくれました。代表委員の子達も最初は、恥ずかしそうにしていたようですが、日を迫うにつれしっかりとできるようになっていました。

